

# 理事・専門委員長 合同会議

日時：平成28年1月29日（金）

時間：13時30分～16時30分

場所：遊学舎 会議棟

＜挨拶 小林 俊昭 会長＞

理事・専門委員長の方々には、特総体で色々な形で力を発揮していることに感謝申し上げます。ここ数年、総体は雄和の施設を使用しています。今回の開始式はスカイドームで行い、大きな混乱もなく進めることができました。広い敷地なので会場間移動が心配ですが、運営の仕方等について、たくさん意見を出して下さい。特体連の仕事は全県の幼児・児童・生徒のためのものなので誇りを持ち、それぞれの担当の競技や式典の準備と運営に力を発揮して下さい。

＜挨拶 清水 潤 特別支援課指導主事＞

今年度の雄和の会場を中心とした総体は、昨年度に比べて、スムーズに運営できていました。これは、皆さんの事前準備や理解と周知のおかげです。次年度も、児童生徒が安心して自分の力を十分に発揮することができることを第一に考え、全体として工夫配慮することや各校が行うこと、そのために各校の職員に理解と協力を得ることなどを視点に入れて進めて下さい。

## 1 第14回特体連総体のまとめ【報告】

- (1) 総体反省 ①事務局・参加中学校②各専門部③各校から
- (2) 総体収支会計について

## 2 第14回大会の主な意見から、来年度（第15回大会）に向けて

### (1) 式典関係

- ①開始式スタイル
  - ・開始式参加エリアを今年度同様に設置するので、活用してほしい。
  - ・総合開始式は実施するが、競技別開始式は実施しない方向で。  
(必要な事項は監督会議で確認するよう計画する)

- ②養護教諭の配置
  - ・各学校の養護教諭の協力を仰ぎ、各会場に配置する。

(継続)

- ③救急時対応
  - ・救急搬送の判断は、けがをした選手の関係者を含め、その場にいる人たちが連携して、119番通報、会場関係者に連絡を入れる。

### (2) 競技関係

- ①綱引競技について  
ルール

- ・来年度からオフィシャルルールに基づいて、反則も適用することを確認。  
具体的な内容を含め、綱引連盟と協議して詰める。

- ②ピン倒し競技

- ・選手の頑張りがより目立つように、大人の支援が最小限になる要領を検討する。
- ・ルールの確認と見直しをする。

### (3) 会場関係（平成28年度）

- ①アリーナ会場と併設の宿泊棟を使えるように確保した。
- ②FDを陸上競技場、GGをスカイドーム、サッカーを球技場で行う。

## 3 第15回大会（平成28年度）特体連総体について

- (1) 会場について・・・雄和エリアと雄和体育館、総合支援エリア小体育館を会場として開催する。
- (2) 開始式について・・・節目となる15回大会は、行進を入れる開始式も検討したが、各競技時間の確保を優先し、通常の開始式要領で進める。
- (3) 大会協力諸団体・・・新屋高校、秋田商業高校、一般ボランティアに協力をお願いする。

## 4 その他

- (1) 第15回（H28）全県総体ポスター等について（H28. 1. 22最終選考で決定）
  - ・ポスター画採用：横手養護学校（高1）赤川 史門さん「バスケットボール競技」
  - ・プログラム表紙画採用：秋田きらり支援学校（中2）佐々木 愛菜さん「綱引競技」
  - ・キャッチフレーズ採用：ゆり養護学校（中1）相場 千晴さん「響け ぼくらの心 よーいどん」
- (2) 平成27年度の特体連中間決算報告
- (3) 平成28年度の特体連諸会議予定

